

テーマ

10年後も住みたいまちにするために、私たちができること

私たちが町のためにできること

守部 寛 琉 真

東京武蔵野ロータリークラブ

ぼくは、10年後も住みたいまちにするために、私たちが町のためにできることのために、SDGの7番の「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」に取り組むことだと考えます。なぜなら、エネルギーを使うと地球温暖化に影響が出ます。エネルギーの使用量を減らすことや、クリーンなエネルギーを使うことで、温暖化を防ぐと考えます。

そのために、みんなでき、出来ることを考えました。一つ目は、電気の無駄遣いをしないことです。例えば、人がいない部屋は、電源を切ることや電子機器をあまり使わないようにすることです。二つ目は、外の温度が高いときは、お風呂の温度を下げ、エネルギーの使用量を減らすことが出来ます。

三つ目は、エレベーターやエスカレーターを使わず歩くことを心がけることです。

- 作文の題名・学校名・学年・名前（ふりがな）を書いてください。
- 小学生は、原稿用紙2枚以内以内、中学生は、原稿用紙4枚以内。

応募について詳しくはサイトでご確認ください。  
[m-rotary.org](http://m-rotary.org)



- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさも守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう

テーマ

10年後も住みたいまちにするために、私たちができること

何かをしなければエネルギーの使用量も減らせ  
 るし、健康にも役立つので良いと考えます。  
 四つ目は、買い物をするときは、エコバツ  
 クを使うという事です。プラスチックを使  
 がらないことで、燃料の使用量や世界中で問  
 題になっていくプラスチックゴミも解決の方  
 向へつながります。  
 市で、できる事は、化石燃料を減らしワリ  
 ーエネルギーをうまく使用することを提案  
 します。

東京武蔵野ロータリークラブ

例えば、市役所や学校、保育園などに  
 すること、多くの人が利用する施設を自家  
 発電しても良いかもしれません。  
 また、市内を走るムーバスを、電気バスに  
 代えることを良いと考えます。  
 これまで、考えて思ったことは、私達が出  
 来る事は、たくさんあるという事です。ワ  
 リーエネルギーを使うことで、きれいな環  
 境を保ち10年後も住みたい町にしたいです。

- 作文の題名・学校名・学年・名前（ふりがな）を書いてください。
- 小学生は、原稿用紙2枚以内以内、中学生は、原稿用紙4枚以内。

応募について詳しくはサイトでご確認ください。  
[m-rotary.org](http://m-rotary.org)



- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を表現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさも守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう